

方法書の審査書(案)

No.		
事業名		(仮称)住田ウインドファーム事業
事業者名		エコ・パワー株式会社
事業実施区域		岩手県気仙郡住田町、一関市、陸前高田市、奥州市
事業特性	事業の内容	風力発電所設置事業 ・風力発電所出力:最大165,000kW ・風力発電機の台数:2,000~3,000kW×最大55基程度 ・ブレード中心高さ:60~80m ・ローター直径:80~103.4m
	工事の内容	工事用資材の搬出入として、一般工事用資材、風力発電機等の長大物及び工事関係者の通勤がある。 建設機械の稼働として、土木基礎工事、電気工事、風力発電機据付工事等がある。
地域特性	大気質	調査範囲において、大気測定点は設置されていない。 なお、平成23年度における岩手県内の13測定局で測定されており、二酸化硫黄、窒素酸化物、一酸化炭素、浮遊粒子状物質は全ての測定局とも環境基準を達成している。ただし、光化学オキシダントは5局で環境基準を超過した。
	騒音・超低周波音	調査範囲において、道路交通騒音調査、一般環境騒音調査は行われていない。
	振動	調査範囲において、振動に関する調査は行われていない。
	水質	<河川> 調査範囲には、北上川水系の砂鉄川、人首川、伊手川、興田川、砂鉄川水系の鳥海川、気仙川水系の大股川、矢作川、火の土川、小股川、中平川の10河川が流れているが、「人の健康の保護に関する項目」と「生活環境の保全に関する項目」の水質測定点は設置されていない。
	底質	調査範囲には、底質の状況調査測定点は設置されていない。

地形・地質

<地形の状況>

調査範囲の地形は、山地及び丘陵地が主であるが、南側には低地が広がっている。

<地質の状況>

調査範囲の地質は、北側が輝緑凝灰岩、南部で泥岩が見られる。

<重要な地形・地質の状況>

調査範囲では、「種山ヶ原(種山高原)」及び「大鉢森山」が台地状の非火山性高原、「阿原山」が台地状をなさない非火山性高原として取り上げられている。

動物

調査範囲は、山地、丘陵地が大部分を占めており、支川や沢等の河川数も多く、多様な動物種が確認されている。

<哺乳類>

ツキノワグマ、アナグマ、ニホンジカ等が確認されており、重要種は7種が確認され、国の特別天然記念物であるニホンカモシカも確認されている。

<鳥類>

ハイタカ、ノスリ、クマタカ、オオワシ、マガン、ヒシクイ等が確認されており、重要種は35種が確認され、国の天然記念物のイヌワシも確認されている。

<両生類・爬虫類>

シマヘビ、ヤマカガシ、カナヘビ、トウホクサンショウウオ、カジカガエル等が確認されており、重要種は両生類3種、爬虫類2種の計5種が確認されている。

<昆虫類>

ハッチョウトンボ、キバネセセリ、ヒメギフチョウ等が確認されており、重要種は25種が確認されている。

<魚類>

ヤマメ、オイカワ等が確認されており、重要種は4種が確認されている。

<底生動物・陸産貝類>

モノアラガイ、トワダカワゲラ等4種の重要種が確認されている。

植物

調査範囲は牧草地を中心とし、東西をクレーミズナラ群落、北側をススキ群落、南側をアカマツ植林に囲まれている。

調査範囲には、第4回自然環境保全基礎調査によるカツラ、スギ、ヤナギ、ケヤキ、アカマツ及びサクラの巨樹・巨木林が存在している。

調査範囲には、重要な植物群落は確認されていない。

生態系

調査範囲の自然環境は、ほとんどが山地・丘陵地で、河川・沢沿い及び南西部の低地・台地に区分される。

調査区域の生態系は、「自然環境の類型区分」として、地形及び地質の状況、動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況より区分し、「地域を特徴づける生態系」として、自然環境の類型区分をもとに整理すると、「山地・丘陵地の針葉樹林を主体とした生態系」、「山地・丘陵地の針広混交林を主体とした生態系」、「山地・丘陵地の草地を主体とした生態系」、「低地・台地の樹林地を主体とした生態系」、「耕作地を主体とした生態系」となり、それぞれの生態系には、上位性としてツキノワグマ、キツネ、イヌワシ、オオタカ等、典型性としてタヌキ、ニホンカモシカ、イタチ等があげられている。

	景観	<景観資源> 調査範囲の景観資源としては、非火山性高原「大鉢森山」、「イーハトーブの風景地」の一つとして文化財保護法で国の史跡名勝天然記念物に指定されている。「種山ヶ原(種山高原)」、非火山性高原「阿原山」、「物見山」、「名勝環川」、「滑岩溪流」、「小黑滝」等の景観資源が存在する。 <眺望点> 調査範囲における眺望点は、「物見山」、「遊林ランド種山(展望台)」、「名勝環川」、「越路スキー場」、「阿原山高原」が存在する。
	触れ合いの活動の場	調査範囲における人と自然との触れ合いの活動の場として、「種山高原」、「種山高原のみち」、「越路スキー場」、「阿原山高原」、「種山ヶ原」、「栗木鉄山跡」、「環川」、「小黑滝」、「安原高原」、「興田神社」、「伊勢館公園」、「山吹田園地帯(棚田)」、「骨岩溪流」、「原台山」、「閑董院有健尊師堂」が存在する。
	廃棄物等	調査範囲には、産業廃棄物処理に係る中間処理施設及び産業廃棄物最終処理施設、特別管理産業廃棄物中間処理施設はない。
	その他 (教育・医療・福祉施設の配置状況、公園指定等環境保全地域区域指定状況、既設風力設置状況等)	<学校、病院、その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況> 調査範囲において配慮が特に必要な施設数は、小学校2箇所、中学校1箇所、保育園1箇所、病院・診療所1箇所、社会福祉施設が1箇所あり、幼稚園、児童遊園、児童館はない。 <住宅の配置の概況> 調査範囲における集落は、主に一関市の県道10号と県道104号が交差する地域(大東町沖田)や奥州市の県道8号沿線にみられる。
環境影響評価の項目	参考項目との差異	別紙参照
調査・予測・評価の手法		方法書P.172～P.211参照
住民意見の概要及び事業者見解・関係都道府県知事意見		住民意見の概要及び事業者見解：資料2-3-3参照 関係都道府県知事意見：資料2-3-4参照
審査結果		環境審査顧問会風力部会の御意見を聞いたうえで、対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について必要な意見を記載。
備考		本審査書は事業者から届出された環境影響評価方法書を基に作成したものである。

表 4.1-1 対象事業に係る環境影響評価の項目

影 響 要 因 の 区 分 環 境 要 素 の 区 分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用	
				工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	建 設 機 械 の 稼 動	造 成 等 の 施 工 に よ る 一 時 的 な 影 響	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	施 設 の 稼 動
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○			
			粉じん等	×	○			
		騒音	騒音	○	○			○
			超低周波音					○
		振動	振動	○	×			
	水環境	水質	水の濁り		×	○		
		底質	有害物質		×			
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○	
		その他	風車の影					×
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く。)			○	○	
			海域に生息する動物			×	×	
		植物	重要な種及び重要な群落(海域に生育するものを除く。)			○	○	
			海域に生育する植物			×	×	
		生態系	地域を特徴づける生態系			○	○	
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、及び評価されるべき環境要素	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○	
	人と自然との触れ合い活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○			○	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		産業廃棄物			○		
			残土			○		

注) ○ 環境影響評価項目に選定したもの

× 環境影響評価項目から除外したもの

表中の網掛けは、発電所アセス省令別表第5の参考項目を示す。